

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心

令和7年度 1月
第3号
発行元
草津市教育委員会
生涯学習課

『協働通心』は、地域協働合校(小・中学校や地域で、社会の変化に対応するために、こどもと大人が世代を超えて知恵を出し合い、学び合い、協力して共に活動する取組)の活動状況を、広く市民の皆さんにお知らせする情報紙です。
今回は、志津南小学校と笠縫東小学校の取組についてお知らせします！

志津南小学校 「立命館大学学生との連携授業 WEEK」

志津南小学校では、全学年が立命館大学生と一緒に体験活動を行い、楽しく学びました。4年生は大学生お手製のプラネタリウムで天文研究会の学生に星座や流れ星について教えてもらい、「今日の夜、空見よう！」と星に関心を持っていました。5年生はバスケットボール部の学生とシュートの練習や試合をしました。「ゴールをよく見てシュートして！」という大学生からのアドバイスでしっかりとゴールを決めていました。



大学生に試合で
勝ったたび！



草津市 たび丸

笠縫東小学校 「かさひがフォレスト再生プロジェクト」

笠縫東小学校の4年生は、校内の自然環境をよりよくするために、クラスを超えてそれぞれ興味のあるチームに分かれて取組を進めています。専門家に初めて使う道具の使い方を教わりながら木のベンチや巣箱を作ったり、ビオトープの環境整備では竹を使って池の水を循環させた結果、「水がきれいになってる！」と水質の改善を実感していました。この空間がこどもたちにとって理想的な森になる日が楽しみです。



教えてもらいながら
道具を使っているたび

